

# 和みの 和カフェで 世代をつなぐ

畑の広がる高田地区。その一角のきれいに手入れされた茶畑の中に、芝山町初の「和カフェ」がオープンしました。ここには、「さまざまな世代の人が集まるスペースをつくりたい」というオーナーの思いが込められています。





池上 政行さん（高田西）

### 電気工事士から製茶業へ転職

この和カフェのオーナーは隆松園3代目の池上政行さん。元々電気工事の仕事をしていた池上さんは、結婚を期に、奥さんの実家の家業だった製茶業の世界に入りました。先代である義父から製茶の技術を受け継ぎ、5年ほど前からは実質的に店を切り盛りするようになりました。

販売している製品は30〜40種類ほどで、芝山町産の茶葉と厳選して仕入れた他産地の茶葉を自社工場で作上げ、ブレンドして販売しているそうです。「茶葉は産地によって味が違います。そのため、それぞれの産地の特徴を生かしつつ、芝山町産の茶葉とのバランスを考え、ブレンドして自分の店独自の味を作っています。」

### お茶を若者へ

和カフェを始めたきっかけは池上さんの子どもたちでした。「自分の子どもやその友達が、ゆっくり安全に遊べる場所を作ってあげたい」と思った池上さんは、店脇の庭を一人で整備。排水設備を通し、芝生や庭木を植え、遊具を設置して「キッズスペース」を完成させました。するとキッズスペースは子どもだけではなく、自然と子どもも集う場所となっていました。そこで、ずっと思い描いていた気軽にお茶が楽しめる「カフェスペース」を作ろうと思いいち立ちました。現代は自分でお茶を入れなくても気軽にペットボ

トルのお茶が買える時代。若い世代はペットボトルのお茶は飲んでも自分でお茶を入れて飲むことはほとんどありません。キッズスペースに子どもと遊びにきたお母さんに、カフェで入れたてのお茶を楽しんでもらうというのが池上さんの理想でした。

和カフェの建設にあたり店舗を改装。今年の4月に開店させました。「これからは若者にも受け入れやすい、新しい飲み方をお茶屋が提案していきたい」との池上さんの思いから、和カフェで提供している飲み物は、すべて隆松園で購入できるものをそろえています。「和カフェで飲んで気に入ってもらえたら、家でも試してもらいたいですね。和カフェのメニューのほかにも、手軽にお茶が楽しめるティーバックもあります」。

### 世代と世代をつなぐ

和カフェとキッズスペースをオープンさせてから、お店に来る客層が変化しました。「今までお茶を買って来ていたお客さんが、孫を連れて遊びにきてくれるようになりました。3世代で来てくれる人もいます。このように『世代と世代をつなぐスペース』として、これからも町の活性化に貢献していければいいと思っています」と笑顔で話してくれました。

